

東京大学釜石カレッジ 連続公開講座



釜石市と東京大学は、平成24年10月に「東京大学釜石カレッジ開設に関する覚書」を締結し、釜石市のまちづくりの推進と産業等の復興を支える新たな人材育成の場として、「東京大学釜石カレッジ」を開設しました。

昨年度に引き続き本年度も、東京大学経済学部と社会科学研究所が中心となり、『三陸経済の復興に向けてパートII』として連続公開講座を開催します。

第1回 『水産業の現状と課題』

7月4日(木)
午後6時～8時

講師：高井紘一郎氏 (元アサヒビール工場長)
司会：新宅純二郎 東京大学経済学部教授

日本の漁業は、昭和59年から数年間は世界一の生産量を獲得するも、乱獲や200海里の排他的経済水域の設定により、現在ではピーク時の4割位の生産量にまで減少。これまでに至る水産業を取り巻く状況や課題に対する解決法について考察する。

第2回 『住宅産業と三陸地域』

7月29日(月)
午後6時～8時

講師：佐々木宏氏 (住宅生産団体連合会・専務理事)
能勢秀樹氏 (住宅生産団体連合会・住友林業)
司会：国友直人 東京大学経済学部長

日本の住宅産業の最近の動向を鳥瞰し、特に住宅産業と林業の今後の関係などについて議論する。さらに三陸地域の特性を生かす形での今後の住宅のあり方について考察する。

第3回 『震災復興と三陸経済～阪神・淡路大震災からの教訓を踏まえて～』

8月22日(木)
午後6時～8時

講師：林宜嗣氏 (関西学院大学教授)
司会：持田信樹 東京大学経済学部教授

阪神・淡路震災復興の教訓、人口減から見た地域経済の将来、地域再生と公民パートナー・シップなどについて建設的な議論を提供する。

会場：いずれも釜石市役所第4庁舎3階 (第7会議室)

- ❑対象……どなたでも参加できます。 ※定員50名程度
- ❑受講料……無料
- ❑申し込み…7月1日(月)までに電話でお申し込みください。
〔申し込み先〕 釜石市総合政策課 TEL 22-2111 (内線132、133)